

医療法人康生会 弥刀中央病院 広報誌

MeToo! \ vol.2 /

特集

気道閉塞の息苦しさを取り除く
気管切開術について
.....
新任医師のごあいさつ
.....

コラム

栄養満点！栄養部コラム
ごはんのじかん
.....



気道閉塞の息苦しさを取り除く

気管切開手術 について

例えば、頸部がんの 患者さんの呼吸を楽に

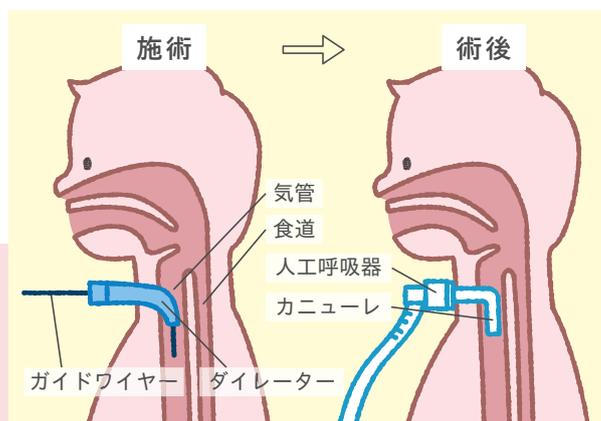
高齢者の方や、脳梗塞や頭部外傷を患った患者さんは、自分で痰を出せず十分に呼吸ができなくなることがよくあります。そのときは吸引チューブ

を鼻腔から気道に入れて痰を吸引しますが十分に除けないことがあります。そのような方に、気管に直接チューブを入れ、そこから痰を取りやすくしてあげる方法が「気管切開術」です。

一昔前は外科医が二人がかりで手術を行っていましたが、最新の方法では小さな切開から細いガイドワイヤーを挿入し、ダイレーターという道具で切開孔を拡張しカニューレを留置できるようになったため、短時間で終わられるようになりました。そのため今までは、当院入院前に急性期病院にて治療時に処置を受けてから転院されてくる方がほとんどでしたが、今では当院でも安全に気管切開術が行えるようになりました。今後は例えば、進行頸部がんという上気道が閉塞していく疾患がありますが、この手術により息苦しさを取り除いてあげられますし、また高齢者の方で息苦しさを訴える方はこの手術により人工呼吸器のサポートを、マスクによるサポートに比べ、容易かつ確実に受けられます。



声が出せなくなることや、また高齢者の場合呼吸筋が弱くなり離脱が難しくなるなどのデメリットがありますが、それらを回避すべく、当院では言語聴覚士が他職種とも密に連携し、患者さんの目標に合わせて呼吸状態の改善や発声訓練などのリハビリテーションを行います。また、離脱が難しいと予想される場合は、患者さん、ご家族とじっくり話し合っその適応を決めるようにしています。



地域の皆さんのお役に
立ちたいと思っています。

医師 吉田 昌弘



本年7月18日より2階を担当している、
京都府立医大卒業の吉田昌弘です。長年
心臓外科に携わっていましたが、老年医療や
訪問診療に興味を持ち、約2年前にキャリアア

チェンジし、羽曳野にある療養型病院で
経験を積みました。前職場で学んだことは、
療養型病院でも気管切開術や埋め込み型の
中心静脈栄養アクセスであるCVポート
造設術などを必要とされている患者さんが
少なからずおられるという事です。着任
してからすでに数例行なっています。
今後は例えば、頸部がんのターミナルの
方で、気道閉塞の危険のある方の息苦しき

を取り除いてあげたり、腸管機能が低下
して中心静脈栄養依存状態の方には、長期
高カロリー輸液管理ができるようになります。
採用していただいた弥刀中央病院に貢献
できるよう、また患者さんやご家族にこの
病院で良かったと言ってもらえるよう、
粉骨碎身頑張りますのでよろしくお願
いいたします。

🕒 吉田先生の担当診療日時

火曜日 9:00～12:00 ※予約診療

外来診療時間

[月～金曜] 9:00～12:00/15:00～17:00

[土曜] 9:00～12:00

※詳しくはホームページ (www.mitohp.jp) の外来をご確認ください。

☎ 06-6721-2721

受付時間 [月～金曜] 8:00～11:30/12:30～16:30 [土曜] 8:00～11:30

緩和ケア対応型

「緩和ケア」とは、ガンやあらゆる疾患に伴う痛みや吐き気などの症状を早期から軽くし、心身の辛さを和らげることです。仕事ができなくなったり、それによる経済的な問題なども相談し合いながら支援します。

当院は療養病床でありながら、緩和ケア病棟に準ずるような機能をもった病棟を「緩和ケア対応型療養病棟」と名付けて運営。「患者さんの生き方や意思を尊重し、その人らしく穏やかに過ごせるように支援する」を理念に掲げ、心身のさまざまな辛さを和らげ、より豊かな人生を送ることができるようお手伝いします。

療養病棟について

病棟概要

対象 ガン患者さん、または、あらゆる疾患で緩和ケアを必要とする患者さん
(終末期である必要はありません)

入院費用 医療療養病棟入院基本料1に準ずる

入院期限 なし

緩和ケアカンファレンス 入院時、定期(月1回)、臨時(患者さんの状態・疼痛の変化時)
多職種チームケア

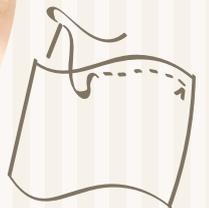
チームによる緩和ケア

最適な医療を提供するため、チームによる医療体制を整えています。定期的な回診を行い専門的な知識や技術を持ち寄り、症状緩和策についてチームで検討して治療方針を決定します。



体も心も楽しいアクティビティ

療養中も日々の変化を感じたり、人や社会との関わりを楽しめるよう、季節ごとのレクリエーションを提供しています。



状態に合わせてリハビリ

患者さん本人やご家族の希望を優先したリハビリテーションを提供します。少しでもその人らしく過ごせるよう、無理のないプログラムを提案し、継続できるよう支援します。



一人ひとりに最適な食事

新鮮な旬の食材を使い一人ひとりに合った最適な食事プランの献立を提供します。嚥下機能（飲み込み機能）が低下している方にはできるだけ形を残した見た目も美しく変化に富んだソフト食をご用意しています。



入院お申し込み

1 お問い合わせ・お申し込み

担当医、もしくは担当ソーシャルワーカーから当院の地域医療連携室あてにご相談ください。

2 ファックスで書類送付

必要な書類は、お電話いただいた際お伝えします。

06・6721・1531

3 入院相談

相談員がご家族と面談し、退院後の方針やご希望を伺い当院での治療についてご説明します。

4 入院日の決定

後日入院可能日時をご案内します。入院当日は、指定時間にお越しくださいますようお願いいたします。

病院について気になること、なんでも解決いたします！

地域医療連携室

06-6721-2721

受付時間

月～土曜 8:30～17:00

療養病棟でのリハビリテーションについて

当病棟では、急性期治療後から維持期まで、
幅広い視点で目標に適したリハビリテーションを提供しています。



Point
1

個別リハビリ

「個別リハビリ」とは、療法士が運動機能や認知機能、嚥下機能などその人の病状を評価し、個人に合わせたリハビリテーションの事です。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がしっかり連携を取りながら、その患者さんに必要な能力・機能の維持・改善を目標にアプローチします。



Point
2

最適なリハビリの提供

リハビリテーションのスタートラインは、その方に最適なリハビリテーションを提案するために、患者さんの病状や心身状態を的確に把握するところから始まります。当院では、ご家族からもお話を聞き、リハビリスタッフだけでなく、病棟の看護師、介護士とも情報交換をしながら、その方の「最適」を追求しプログラムを提供します。



Point
3

在宅復帰に向けて

口から食べる、自分で排泄する、ベッドから離れて生活する…そんな当たり前のことが困難となる場合があります。我々は患者さんの生活を少しでも支えるお手伝いができるように、多職種で協力し取り組みを行なっています。また、退院後も訪問リハビリや外来リハビリなどで在宅生活を支えられるよう、全力でサポートしています。

リハビリテーションについては
地域連携室までお気軽にお問い合わせください

☎ 06-6721-2721

受付時間 月～土曜 8:30～17:00

ごはんのじかん



骨が豊かだと成り立つものって？

「體」この字はなんと読むかご存知でしょうか？骨が豊かと書いて「からだ」と読みます。体の旧字です。昔から体は豊かな骨で成り立っていると考えられていました。そのくらい骨というのは私たちの体の中で大切なものなのです。

骨密度が低下し骨折しやすくなるなどの症状が現れる骨粗鬆症は、閉経以降の女性や高齢男性に多くみられる病気です。高齢者の骨折は部位によっては寝たきりになるなどQOL（生活の質）を大幅に下げる原因になっています。では骨密度は何で決まるのでしょうか？それは若い頃の運動量とカルシウムの摂取量、そして運動習慣に関係するとされています。年をとってか

らでも、ウォーキングなど重力のかかる適度な運動を行うと骨の破壊を緩やかにしてくれるため、骨粗鬆症予防には効果的です。そして、骨密度を高めたり保持したりする上で運動とともに大切なのはカルシウムです。日本人はカルシウムが多く含まれている牛乳や乳製品を摂る習慣があまりありません。また、牛乳を飲むと下痢をしてしまう



体質（乳糖不耐症）の方が多くいます。牛乳だと下痢をしてしまう方でもヨーグルトだと食べられたりすることもあるので無理をせず自分の体に合わせてカルシウムを摂取しましょう。例えばカルシウムが多く含まれている豆乳や豆腐、納豆などは日本人の食事に昔から取り入れられてきた食品なので、比較的摂取しやすくおススメです。

関連施設

弥刀介護老人保健施設

日常生活動作回復のためのリハビリ、食事、入浴、レクなど、仲間と共に有意義な時間を送り、明るく楽しい家庭復帰を目指します。ショートステイもぜひご利用ください。

定員 60名 **条件** 要介護認定で要介護度1～5と認定された方。

☎ 06-6721-1214 (9:00～17:00) 担当 脇坂



デイケア（通所リハビリテーション）

専従の療法士が丁寧なカウンセリングを行い、個々のライフスタイルに合わせたリハビリプログラムを提供。また、老健併設のため、医療度の高い方も受け入れ可能です。

定員 30名 **条件** 要介護認定で要介護度1～5と認定された方。

☎ 06-6721-1214 (9:00～17:00) 担当 玉井

病院概要

診療科目 内科・循環器内科・消化器内科・放射線科・リハビリテーション科

診療時間 月～金曜日 9:00～12:00／15:00～17:00
土曜日 9:00～12:00
※休診についてはホームページ（www.mitohp.jp）をご参照ください。

休診日 日曜・祝祭日・年末年始

お問い合わせ ☎ 06-6721-2721（受付時間 月～土曜 8:30～17:00）